

伊丹市新庁舎整備工事 実施設計図等に関する 質問 への回答

No	資料名	ページ	項目	質問	回答
1	特記仕様書	P1	第3条第2項	「変更契約(工期の変更)を締結することにより、工期の始期日を変更することができる」とありますが、開発工事のみの工期の始期日に変更が生じた場合でも、全体の伊丹市新庁舎整備事業について、変更契約(工期の変更)を締結する必要があるのでしょうか。	開発工事のみの工期の始期日変更の場合、変更契約は不要とします。
2	特記仕様書	P7	第24条第1項	家屋調査は工事着工前に行うこととなっていますが、要求水準書P19の内容と食い違っております。要求水準書P19の内容を正としてよろしいでしょうか。	周辺家屋調査の実施時期は要求水準書を基本としますが、北側緑地解体及び雨水管改築工事着工前に必要とします。
3	特記仕様書	図面番号5	(工事区分)	擁壁計画平面図が記載されていますが、フェーズ4の外構工事となりますので、別途工事と考えて宜しいでしょうか。本体工事となる場合は形状・仕様を御指示下さい。	図面番号5記載の「新設擁壁(建築工事)」の③、④は立体駐車場新築工事における建築物の外壁躯体となります。開発工事においては別途となります。尚、当該外壁躯体の形状・仕様は当該実施設計にて決定するものとします。
4	特記仕様書	図面番号11-1～11-7	(工事区分)	【市負担】・【警察負担】と記載されていますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。	【市負担】は開発工事に含まれ、【警察負担】分は別途工事です。
5	特記仕様書	図面番号16-1、16-2	(工事区分)	防火水槽構造図が記載されていますが、フェーズ4の外構工事となりますので、別途工事と考えて宜しいでしょうか。	防火水槽(2基)は開発工事に含まれます。
6	開発工事図面	図面番号10他	設計変更対応	道路管理者、公安、近隣等とは協議済みで、VE提案や新庁舎実施設計検討に起因する変更を除いて、道路形状や仕様に変更がないものと考えて宜しいでしょうか？	お見込みの通りとなります。

伊丹市新庁舎整備工事 実施設計図等に関する 質問 への回答

No	資料名	ページ	項目	質問	回答
7	開発工事 図面	図面番号 5、7、8、 9、14他	設計変更 対応	VE提案に起因する場合を除いて、開発工事の設計変更対応は、現時点では内容不明のため、別途と考えて宜しいでしょうか？	設計変更対応については、VE提案や新庁舎本体新築工事等の実施設計に起因する変更、受注者の責に帰すべき変更、その他受発注者間の協議により設計変更と決定されるものを除き、別途とします。
8	開発工事 図面	—	土壌汚染 対策法関 連	特別高圧等インフラ整備工事が先行して行われるため、開発工事に伴う土壌汚染対策法関連手続きは別途と考えてよろしいでしょうか？	お見込みの通りとなります。
9	開発工事 図面	—	開発区域 外への対 応	開発区域外の対応は別途と考えて宜しいでしょうか？	関連区域内の工事(外周道路の改修等)は開発工事に含まれます。
10	開発工事 図面	図面番号 12-4	バス停	バス停の上屋の景観意匠検討は別途と考えてよろしいでしょうか？	バス停の上屋は図面番号12-4記載の仕様を基本とし、実施設計において新庁舎本体と共に景観意匠の検討を行うこととします。
11	開発工事 図面	図面番号 8、16- 1	新設汚水 最終柵	敷地内旧庁舎からの仮設污水管および新庁舎からの本設污水管を新設汚水最終柵に接続するにあたり、配管経路上に防火水槽があるため接続できません。レベル的にも平面的にも干渉が避けられないと思われませんが、防火水槽を回転帯付近まで移動できないでしょうか。	防火水槽の設置位置は消防車両が2.5m以内に駐車可能かつ採水管長12m以下の範囲内に設置する条件において変更は可能ですが、変更協議を伴います。
12	開発工事 図面	図面番号 2	仮設計画 平面図 ⑤千僧 4149号線 改修	千僧4149号線改修時に交通誘導員と工事予告看板を市立博物館前と医師会前車道に配置する記載があります。工事中千僧4149号線は、一般車両の通行止めを行う計画でよろしいでしょうか。	施工中の交通規制については警察、道路管理者、近隣住民との協議が必要となります。現時点では、通行止めとして計画してください。

伊丹市新庁舎整備工事 実施設計図等に関する 質問 への回答

No	資料名	ページ	項目	質問	回答
13	開発工事 図面	図面版b 号14- 2、14- 3、14- 5	排水施設 構造図	既存ボックスカルバートを挟んで北側と南側に鋼矢板土留Ⅲ型L7mの記載がありますが、仮設工事ではなく本体工事で打ち込みを行い、最終的に残置するという認識でよろしいでしょうか。また設置の使用目的をご教授ください。	矢板の残置についてはご理解の通りとします。 尚、鋼矢板の設置と使用の目的については、既存施設の構造耐力や強度が未知となっている中、既存施設を改修することによる構造崩壊を防止するために、矢板で土圧を受ける構造とすることを目的としています。
14	開発工事 図面 設計書	図面番号9	給水施設	給水施設計画平面図で、北西角近くに新庁舎用の新規給水引込管DIP75Aの記載がありますが、添付「設計書」に記載が見当たりません。開発工事でなく本体工事となるのでしょうか。	お見込みの通りとなります。
15	開発工事 図面	図面番号 12-4	道路構造 図	12-4道路構造物(4)にバス停表示及び上屋の図面がありますが、電源の必要なものが見当たりません。基本設計図P76外構計画部分で「別途開発工事にて新設する本庁舎西側バス停上屋の電灯電源を本庁舎電灯分電盤(専用電力量計設置)より供給します。」の記載ありますが、電源供給は必要でしょうか。詳細ご指示願います。	バス停上屋、その他ベンチ等工作物は設置後、交通局に移管されます。それ以降に交通局にて電源を必要とする付属物(照明など)を設置することを想定し、電源供給を必要とします。
16	協議録 開発工事 図面	—	20181203 打合記録 簿_伊丹 市_上下 水道局管 理課管 理・水路G	「協議録:20181203打合記録簿_伊丹市_上下水道局管理課管理・水路G」内に「圧送管に平行して水位計の電線管も設置すること。電線管は15m間隔でハンドホールの設置が必要となる。」と記載がありますが、図面上何処に記載あるのでしょうか。詳細ご指示願います。また添付「設計書」に電線管仕様及びケーブルの記載がありません。必要であればご指示願います。	図面番号14-2を参照下さい。

伊丹市新庁舎整備工事 実施設計図等に関する 質問 への回答

No	資料名	ページ	項目	質問	回答
17	開発工事 図面	図面番号 14-1	排水施設 構造図	図面14-1にオリフィス廻り計画図の記載がありますが、この崖錐ポンプは「本体工事」の新庁舎ピット内設置のポンプを示していると考えて宜しいでしょうか。工事工事区分をご指示願います。	お見込みの通りとなります。
18	開発工事 図面	図面番号 14-3	排水施設 構造図	図面14-3に「既設ポンプ移設」「今池用ポンプ盤移設」の記載がありますが、「設計書」に記載が見当たりません。別途工事と考えてよいでしょうか。	お見込みの通りとなります。
19	開発工事 特記仕様 書	図面番号 10	路床支持 力	特記仕様書 第41条において、路床面が土の場合の路床支持力(CBR)は8を想定していると記載ありますが、CBR試験は現地着工後にしか行う事ができないため、路床支持力8を満たさない場合に必要な地盤改良等については、別途工事としてよろしいでしょうか。 別途が不可の場合は、地盤改良が必要な範囲、仕様等のご提示をお願いします。	お見込みの通りとなります。
20	開発工事 図 開発工事 設計書	図面番号 5、6- 1、6-2	造成計画 切盛土量	造成計画平面図、造成計画縦横断面図に造成土量に関する記載がなく、設計書にも記載が無いと思われます。切盛土量の根拠となる図面及び参考数量のご提示をお願いします。	土量根拠図を提示します。尚、設計書は参考内訳となります。

平成31年(2019年)2月28日

伊丹市新庁舎整備工事 実施設計図等に関する 質問 への回答

No	資料名	ページ	項目	質問	回答
21	開発工事 図	図面番号 5	造成計画 擁壁	造成計画平面図に②③新設擁壁(建築工事)の記載がありますが、建築工事の工事区分と考えてよろしいでしょうか。今回の開発工事の区分でしたら、構造が解りません。構造図のご提示をお願いします。	建築工事の工事区分となります。
22	開発工事 図	図面番号 14-2、 14-3	排水施設 構造図	排水施設構造図に既設ゲート撤去がありますが、詳細が解りません。図面のご提示をお願いします。	既存構造物の構造図はありません。仕様は既存雨水管のサイズで鋼板の樋門となっています。
23	開発工事 設計書	—	参考内訳 明細書	参考内訳明細書の各項目の備考欄に、「明細第0-000号内訳表」と記載がありますが、その内訳が添付されておられません。ご提示をお願いします。	参考内訳明細書は参考となりますので、図面を参照の上、積算を行って下さい。
24	開発工事 図面	図面番号 14-2、 14-3、 14-5	排水施設 構造図	既存ボックスカルバート内に新設するボックスカルバートの工事中は、西側上流で水を堰き止めができ、ドライな状態で工事ができると考えてよろしいでしょうか。上流で堰き止めができない場合は、どのような施工手順をお考えかご教授ください。	上流での堰き止めは困難と考えます。想定している施工手順としては、バイパス水路を先行して設置した後、排水ルートを切り替え、既存ボックスカルバートを改修する手順となります。